

# 勝ち残る総合評価時代のポイント

PRESENTATION

受注した工事1件から最大限の利益と  
工事成績評定点UPの意識改革に向けて



## 総合評価の入札価格見直し(1)

DEKISPART  
株式会社建設システム  
www.kentem.jp/

企業評価型		A社	B社	C社
入札価格		4,260	4,160	4,280
除算方式	技術評価点 (100点満点)	70	75	75
	10点満点換算 (a)	7.0	7.5	7.5
	技術評価点 標準点(100点)+加算点(a)	107.0	107.5	107.5
	評価値 (技術評価値/入札価格(単位:千万))	25.1174	25.8413	25.1168
<p>今年度内、この点数は揺るがない!</p> <p>評価値25.1175でも勝てた!</p> <p><math>107.5 \div ? = 25.1175</math></p> <p><math>? = 4.27</math></p> <p>利益110万円損失!</p>		2位	1位 (落札)	3位

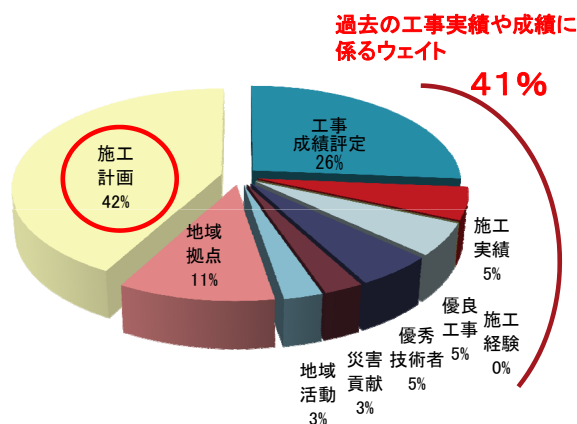
## 総合評価の入札価格見直し(2)

施工計画型		A社	B社	C社
入札価格		7,550	7,350	7,400
除算方式	技術評価点 (210点満点)	81.48	78.75	59.01
	企業評価型75点+3.75点??			
	20点満点換算 (a)	7.76	7.50	5.62
	技術評価点 標準点(100点)+加算点(a)	107.76	107.50	105.62
評価値 (技術評価値/入札価格(単位:千万))		14.2732	14.6259	14.2724
評価値14.2733でも勝てた! 107.5 ÷ ? = 14.2733 ? = 7.53 利益180万円損失!		2位	1位 (落札)	3位

## 工事成績評定点UPが勝ち残りの鍵

### 分析結果

総合評価項目内訳【国土交通省の場合】



- 内訳の主な評価項目である施工計画書は、**不確実な要素**である
- 施工計画が評価されても**工事成績評定が低ければ意味がない**
- 工事成績評定は努力次第で**確実に点数が取れる**
- 工事成績評定は**一定期間のこれから取ろうとする工事に影響**を及ぼす
- 簡易型については、工事成績評定の影響が**支配的**になる
- 部分最適化では効果は薄い

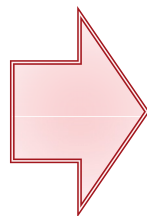
総合評価対策のキーワードは工事成績評点UPである

		平成19年度	平成20年度	平成21年度
愛媛県	満点	105	135	145
	施工計画：実績評価	60:45	60:75	60:85
	施工計画を1として見ると…	1:0.75	1:1.25	1:1.42
香川県	満点	160	230	210
	施工計画：実績評価	60:100	70:160	60:150
	施工計画を1として見ると…	1:1.67	1:2.29	1:2.5

国土交通省 改正内容(平成21年度より)

別記様式第2

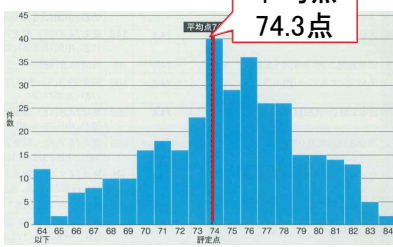
項目	細別	細目別評定点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	3.2 / 3.2 点
	II. 配置技術者	3.8 / 3.8 点
2. 施工状況	I. 施工管理	11.7 / 11.7 点
	II. 工程管理	9.3 / 9.3 点
	III. 安全対策	10.7 / 10.7 点
	IV. 対外関係	3.4 / 3.4 点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	13.9 / 13.9 点
	II. 品質	15.9 / 15.9 点
	III. 出来映え	8.5 / 8.5 点
4. 高度技術	I. 高度技術力	7.8 / 7.8 点
5. 創意工夫	I. 創意工夫	5.4 / 5.4 点
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	6.4 / 6.4 点
7. 法令遵守等		0.0 点



評価項目	細別	評定点/満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	／ 3.3 点
	II. 配置技術者	／ 4.1 点
2. 施工状況	I. 施工管理	／ 13.0 点
	II. 工程管理	／ 8.1 点
	III. 安全対策	／ 8.8 点
	IV. 対外関係	／ 3.7 点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	／ 14.9 点
	II. 品質	／ 17.4 点
	III. 出来ばえ	／ 8.5 点
4. 工事特性 (加点のみ)	I. 施工条件等への対応	／ 7.3 点
5. 創意工夫 (加点のみ)	I. 創意工夫	／ 5.7 点
6. 社会性等 (加点のみ)	I. 地域への貢献等	／ 5.2 点
7. 法令遵守等 (減点のみ)	工事事故等による減点	
	総合評価による減点	

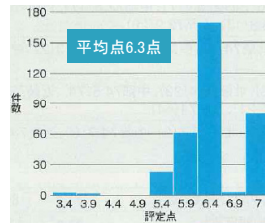
## 工事成績評定の分布

●工事成績評定の分布

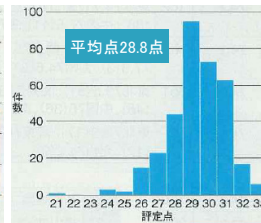


●項目別にみた評定点の分布

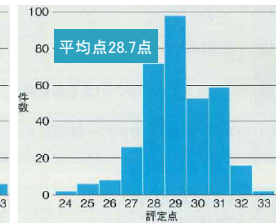
[施工体系(満点7.0点)]



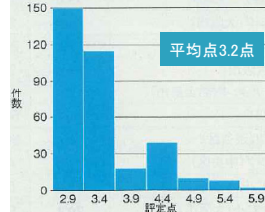
[施工状況(満点35.1点)]



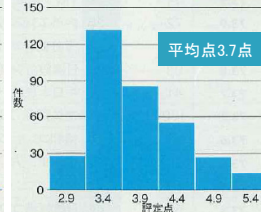
[出来形と出来栄え(満点38.3点)]



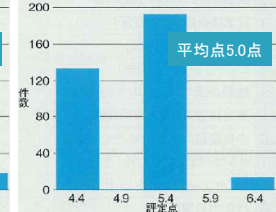
[高度技術(満点7.8点)]



[創意工夫(満点5.4点)]



[社会性など(満点6.4点)]



(注)北海道開発局を除く8地方整備局のデータに基づく  
※参考資料 日経コンストラクション2008年10-24号

「出来形と出来栄え」は、点数にややばらつきがある。  
日々の品質管理や最終の仕上げの良さ、監督官へのアピールによって差が出る評価項目と言える。

「施工状況」は満点35.1点に対して平均点28.8点がピーク。加点のみの評価項目である「高度技術」は、最低点付近にピークがあり、満点に向かってなだらかに件数が減少している。

時をきずき、未来をひらく。



## 工事成績評定をアップさせるには

「工事評点」が  
今後の入札の強みに！！

### 1. 工事成績評定の仕組みを理解する

・配点、計算・集計方法

### 2. 評価項目で自社(各現場代理人)の弱点の分析と克服

・工事成績評定確認会議の実施など

### 3. ITを活用して効率化を図り、現場管理の時間を増やす

・専門ソフト、IT等の有効活用により評点が向上する項目の洗い出し  
— 施工計画、出来形管理図、品質管理、工程管理、CAD活用  
・電子納品(デジタル写真管理等)の早期対応

### 4. 安全管理

・事故発生の場合、大幅な減点。次の工事受注にも影響が大きい。

### 5. 工程管理

・工期内に収めることは必須事項。書類が完遂していない場合も減点対象に。

### 6. 施工体制、施工管理、出来形・品質管理

・施工プロセスチェックに従って施工。検査は時間勝負のため、分かりやすい資料整理を。

時をきずき、未来をひらく。

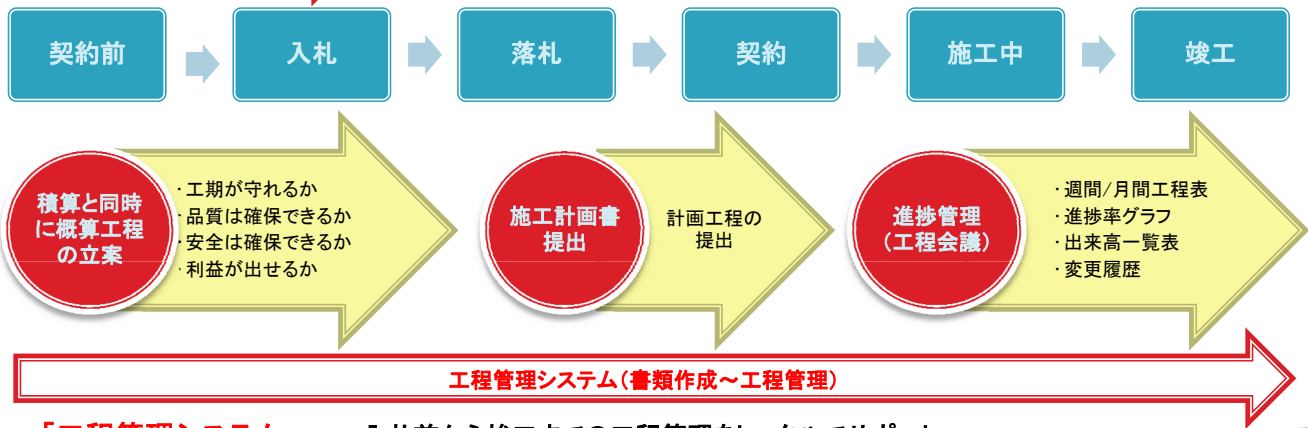


## 経営支援システム ⇒「入札シミュレーション2008」と「工程管理システム」

- ・入札時に最大の利益ポイントを素早くキャッチしましょう。
- ・工程から施工までのムダを除く事で、10%以上の利益改善をしましょう。
- ・請負管理(賃金や時間単価)をやめて、利益管理(時間)を行いましょ。

### 総合評価方式 入札シミュレーション2008

総合評価落札方式において、技術評価点という未知の数値を予測し、複雑な計算結果をマトリクスで表示します。勝敗ラインやリスク範囲を可視化することにより、最大の利益ポイントをすばやくキャッチし入札業務をサポートします。



「工程管理システム」 入札前から竣工までの工程管理をトータルでサポート

時をきずき、未来をひらく。

# 創意工夫を武器にする

## ■ 施工管理の「創意工夫」にて対応すべき重要事項とは？

1. 略図の掲載と測定項目の色分け
2. 「出来形一覧表(総括表)」で全工種の状況が分かる
3. 「度数表」と「工程能力図」は必須の提案資料
4. 出来形で社内管理基準値や社内検査値などが把握できる
5. 写真管理基準に社内管理の工種、項目、頻度、箇所の記載が必要
6. 施工計画書での施工管理計画と現場の出来形・写真管理の一致

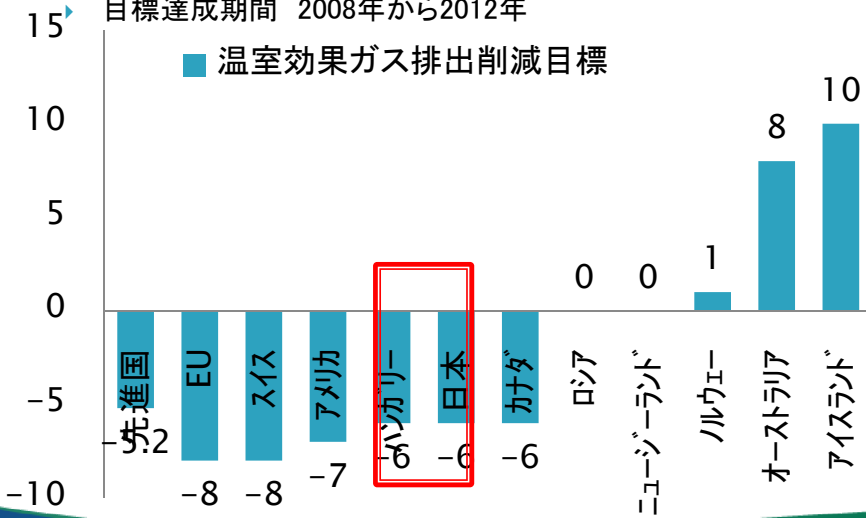
完成検査は『工事』というプロジェクトの  
プレゼンテーションの場。

クライアントである発注者様に分かり易く、効果的な資料を提示することは、「創意工夫」の重要事項です。

時をきずき、未来をひらく。

# 京都議定書での削減目標値

- ▶ 京都議定書では、先進国の温室効果ガス排出量について、法的拘束力のある数値目標が各国ごとに設定されました。先進国全体で、2008年から2012年までの約束期間に、削減基準年の排出量から5.2%削減することが約束されました。日本は6%(EU8%)の削減を約束しています。
- ▶ 対象ガス(6ガス)
  - 二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、HFCs、PFCs、SF6
- ▶ 削減基準年 1990年(HFCs、PFCs、SF6については、1995年としてもよい)
- ▶ 目標達成期間 2008年から2012年



出典)環境省「地球温暖化パネル」  
全国地球温暖化防止活動推進センター

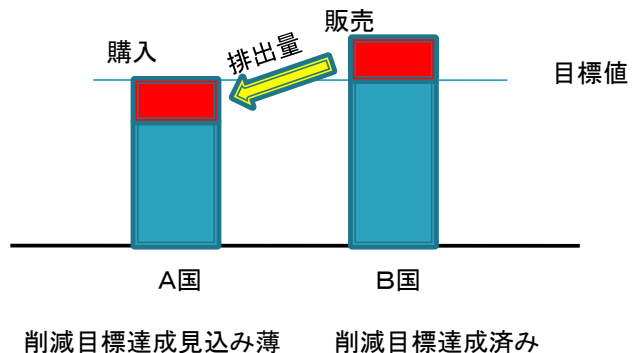
時をきずき、未来をひらく。

# なぜ今、CO2削減なのか？

- ▶ 「第7回気候変動枠組条約締約国会議(COP7)」などで各国の遵守制度が話し合われました。
- ▶ 第1約束期間(2008年～2012年)内に不遵守の国があった場合(目標未達成の場合)
  - ① 超過した排出量を3割増にした上で次期削減義務値に上乗せされる
  - ② 次期約束期間における遵守確保のための行動計画を策定しなければならない
  - ③ 排出量取引(※)が禁止される
 など、法的拘束力を持たない形での罰則規定が決定されています。

※排出量取引  
(はいしゆつりようとりひき)

京都議定書に定められた各国の排出削減目標を達成するため、先進国間で排出量を売買する制度。国内の温室効果ガス削減努力に対し、補完的手段として認められた柔軟性措置の一つ。

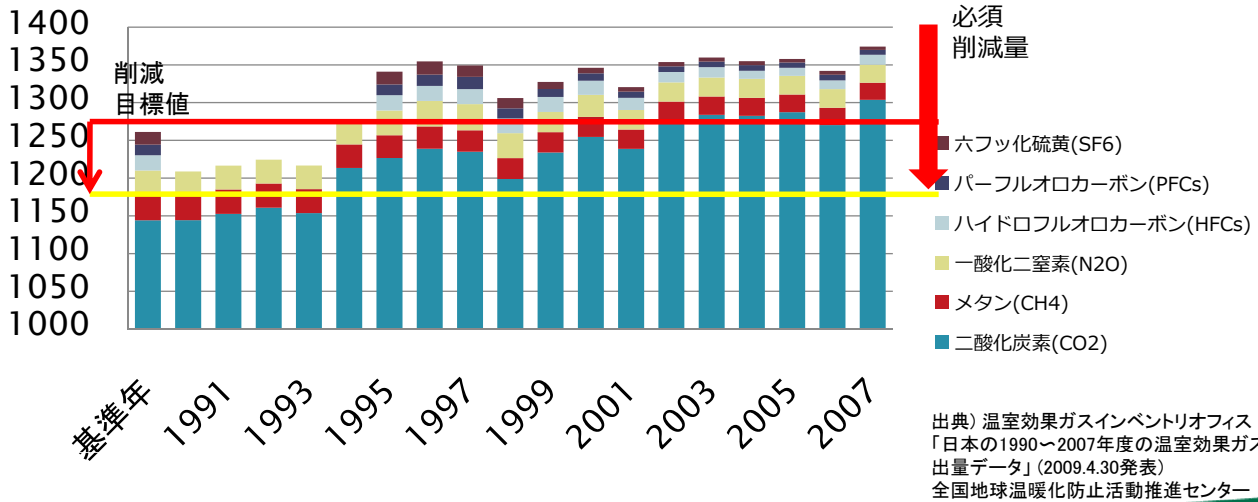


出典)全国地球温暖化防止活動推進センター

時をきずき、未来をひらく。

- ▶ 日本では、2008年4月から、第一約束期間に入りました。1990年に比べて温室効果ガス排出量を6%削減することが、日本に課せられた目標です。しかしながら、1990年に比べ総排出量は、逆に6.2%上回っているのが現状なのです。(2006年度の数值合計/2008年発表)

## 日本における排出量の推移



時をきずき、未来をひらく。



# 国土交通省における地球温暖化対策

## 施策の内容

### 公共交通の利用促進

・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を活用し、地域の自立した日常生活の確保等のために、地域の協議会が行う多様な取組みに対し、一括で総合的に支援する柔軟な制度(地域公共交通活性化・再生総合事業)を創設

### 交通流の円滑化

・ITSの推進、路上工事の縮減、多様で弾力的な高速道路の料金施策の実施、ボトルネック踏切等の対策など、交通流の円滑化に向けた取組の実施

### 物流の効率化

・都市内物流効率化に向け、各地域の多様な関係者が参画し、情報共有等を行う協議会設立等への支援の実施

### 自動車・船舶の低燃費化

・燃費性能及び排出ガス性能に優れた環境負荷の小さい自動車の更なる普及に向けた施策の推進  
・船舶のCO2排出量を評価する指標(海の10モード指標)の開発・普及等を通じ、海運におけるCO2排出削減の推進

### 住宅・建築物の省エネ性能の向上

・住宅・建築物に係る規制・誘導策の充実・強化  
・現行の省エネ判断基準を上回る高い省エネ性能を備えた先導的な住宅・建築物の建築の促進のための措置の導入  
・省エネ性能の高い住宅・建築物が選択されるよう、消費者にもわかりやすい省エネ性能の評価・表示を更に推進  
・既存ストックの省エネ改修促進等に対するインセンティブの付与

### 省CO2型の都市構造の構築

・都市・地域全体の環境負荷の低減に向け、様々な都市機能が集約し、公共交通が中心となる集約型都市構造の実現、都市の緑化、下水道の有する資源エネルギーの効率的利用などの施策を総合的に展開

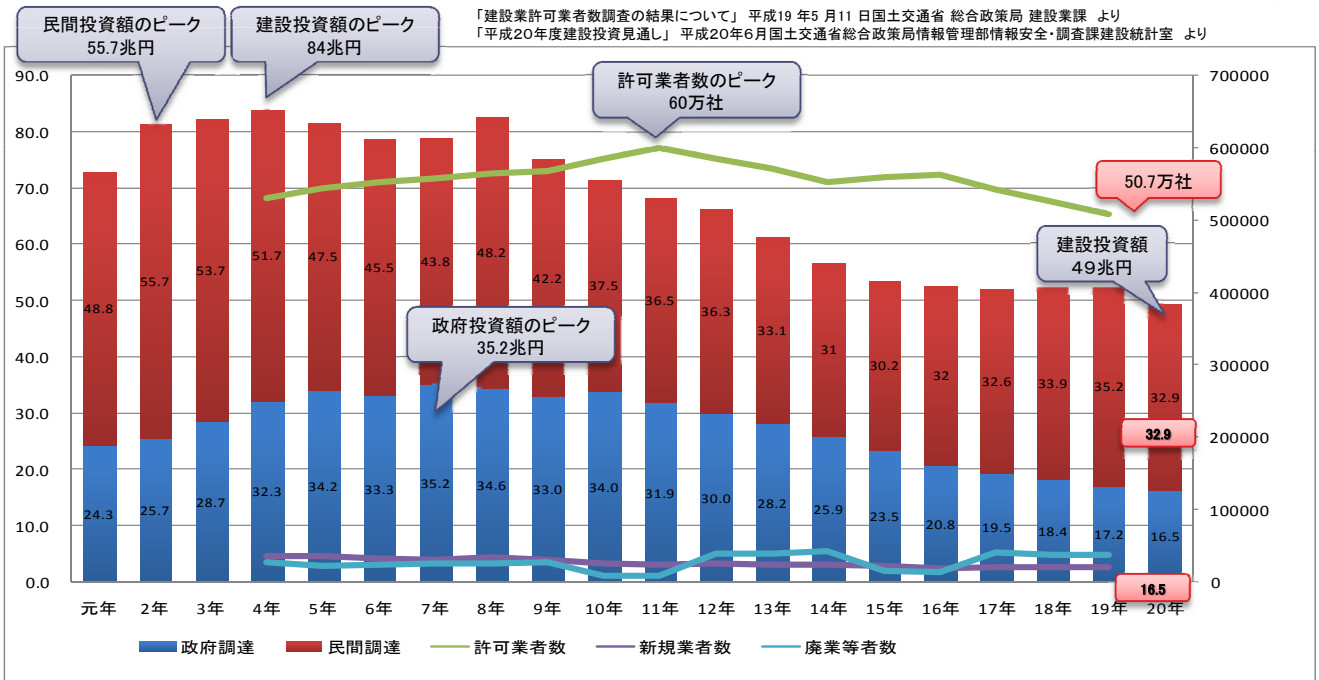
出典)地球温暖化対策推進本部 地球温暖化国内対策に関する七大臣会合  
平成19年10月18日開催 資料(4)より

時をきずき、未来をひらく。



# 建設投資額・許可業者数の推移

- 平成19年度は、平成4年度の約6割。政府調達分はピーク時の半分以下。
- 政府は来年度以降も公共事業費を前年の3%削減する方針。



# エコアクション21の概要

	ISO14000	エコアクション21
母体	ISO(国際標準化機構)	環境省・(財)地球環境戦略研究機関
審査登録費用	200~300万円	15~40万円
コンサル料	100~200万円	30~40万円
構築期間	1年~2年	6か月
更新	3年	2年
社内システム	厳重なシステム 様式、基準は独自で作成	簡易なシステム 様式、基準は規定
環境への対応	環境負荷削減を要求しない	環境負荷削減を要求される
社会的公表	環境方針の公表	環境活動レポートの公表



### 1. 少人数の中小企業等でも容易に取り組めるEMS

環境省がISO14001の規格をベースに、中小企業者でも取り組みやすい環境マネジメントシステムのガイドラインとして作成したものですので、取り組みが容易です。

### 2. 経営コスト削減に繋がる環境パフォーマンス評価

必ず把握すべき項目として、CO2排出量、廃棄物排出量及び排水量(水使用量)を規定しているため、環境保全活動そのものが、コスト削減に繋がるシステムとも言えます。

### 3. 環境コミュニケーションによる社会性強化

事業者が環境への取組状況を「環境活動レポート」として作成、公表します。このような社会に対する「環境コミュニケーション」は、企業の環境への取り組みを広くPRでき、企業イメージの向上につながります。

観点	工種	土工	法面工	擁壁工	基礎工	仮設工 (鋼矢板工)	道路 舗装	トンネル工
工法の 検討	建設機械の大型化	◎	△	△	○	△	△	○
	自動化・情報化等 による高効率化	○	△	○	◎	△	○	○
	高効率の建設機械 への転換	△	◎	△	△	○	△	◎
	商用電源の利用	△	◎	△	◎	◎	△	◎
	資機材の適正配置	○	△	△	△	◎	△	△
	資材の プレキャスト化	—	○	◎	○	—	○	○
	現場発生材の 原位置リサイクル等	○	○	○	△	—	◎	○
建設機 械の運 用等	省エネ運転の励行	◎	△	○	○	○	○	○
	低燃費建機の採用	◎	△	○	○	△	△	○

◎: 定量的効果が期待できる  
○: 定性的効果が期待できる  
△: あまり効果は期待できない  
—: 検討対象外

参考資料: 社団法人 日本建設機械化協会「建設施工における地球温暖化対策の手引き」より抜粋